

# それからの 尾長天満宮「大径木 NO.1 伐倒」

5班 秋武 明

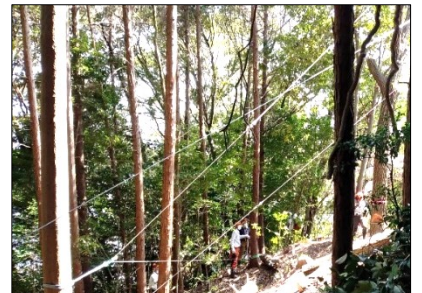


直径 50 ㍓のコナラ。樹上(←)は筆者

3月27日(日)の例会時に実施出来なかった「大径木 NO.1」の伐倒を、4月9日(土)に山本理事長、見勢井顧問、佐藤さん、富田さん、小迫さん、途中応援参加の坂田さん、そして秋武の7名で実施しました。道路を挟んだ民家の屋根まで枝先が及んでおり、「念には念を」と7日(木)に現地で作業工程の打ち合わせを行った上での伐倒です。

午前中は倒す側の雑木伐採、太さが20㍓になった枝2本の処理、チルホールと2本の補助ロープを準備して終了。昼休憩の後は、1本梯子(3本継)を頼りに秋武が樹上で、準備していたロープとワイヤーを取り付け、作業後、メインロープを山本理事長と秋武、補助ロープを小迫さん、もう一方の補助ロープを坂田さん、富田さん(伐倒補助兼務)がそれぞれ受け持ち安全を確保。安全監視は見勢井顧問、伐倒担当は佐藤さん、という体制でいよいよ伐倒に臨みました。

牽引の作業をコマメに修正を加えながら進め、午後3時頃に大音響とともに安全に伐倒する事が出来ました。しかし、作業はこれで終了したわけではなく、あまりにも太く長い枝分かれした木の枝処理に時間が掛かった事は言うまでもありません。この他道路へ枝の張り出した直径20㍓ほどのコナラを1本伐採して作業を無事終了しました。



より確実に安全に。3方向からのロープ掛け

最後に、この度の大径木伐倒作業から感じた事は、作業を進めるには入念な現地調査(打ち合せ)、十分な機材準備、安全監視をする事が重要であるという事です。いつ迄木登りができるかわかりませんが、楽しみながら参加したいと思います。これからも安全第一で宜しくお願いします！

《山本所感》このたびの活動は軽快且つ、安全に木上で高い作業スキルを持つ秋武さんには重労働を担っていただき、ほか各々もすべきことを考え、よく動き、研修目的で参加された坂田さんも意欲的！メンバー全員が安全を第一に少しでも気づきがあれば即中断して遠慮なく意見を活発に出し合い、納得した上での施業決行。新旧が学び合う信頼関係の中で技術向上作業は最高でした！

## 報告



# 4月 環境教育研究部会

部会長 佐々木綾子

🌸🌸🌸🌸🌸 11日(月) 袋町交流プラザ環研打合せ & 16日(土)松ヶ原フィールド整備 🌸🌸🌸🌸🌸

環研の打ち合わせ主題は、体験型環境教育「もりメイトキッズ」。今年で16年目を迎えます。コロナ禍で2年ほど翻弄され、開催も危ぶまれてきましたが、それらを踏まえ今年度のキッズの内容を検討いたしました。

テーマは『発見！探検！楽しいけん』。松ヶ原のフィールドで、参加するキッズと一緒に植物観察や森林整備を行う中、新たな発見を求めながら、SDGsを追求しつつ楽しめるプログラムになればと思っています。

また、以前より製作している大竹市松ヶ原のキッズフィールドのツリーハウスのデッキと階段の手すりの設置、ハウスの壁材取り付け、塗装を行いました。

松ヶ原の森の中は一面ピンクのコバノミツバツツジが咲き誇り、すがすがしい新緑とともに美しい風景を奏でておりました。天気も良く過ごしやすい快適な気候の中、作業は順調に進んでいきました。来月も引き続きツリーハウスの塗装作業を行う予定です。



手すり、壁材取付の様子



女性も戦力！ツリーハウスの塗装作業

《 2022年度もりメイトキッズ 》

☆ テーマ；発見！探検！楽しいけん！ ☆

～未知なる自然に出会う

松ヶ原もりメイトキッズ～

開催日： 6月19日(日曜日)

8月21日(日曜日)

10月16日(日曜日)

募集要項、詳細は会報にて随時ご案内いたします。